

D01.01

K

20742

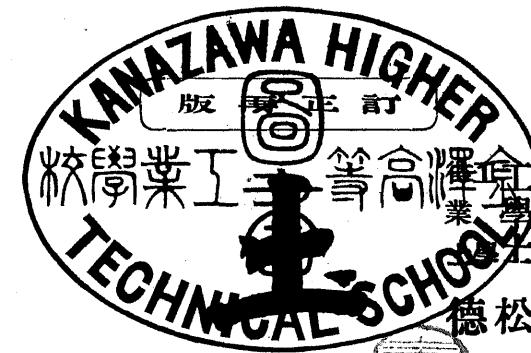
1
1
I-A-3

名著100選図書

54.12.6

登録	昭和 年 月 日
番号	第 20742 号
社団 法人 土木学会	
附属 土木図書館	

引取図書



工學

三川

浦口

鍋

虎太

茂太

金太

春太

岩

弘

本

溝藤

太

市郎橘郎雄

共著

基士士

工壓建

木工

工

學

下卷

東京 丸善株式會社

緒 言

本卷ニハ素ト土工,基礎,石工,仕様及ビ豫算ノ四篇ヲ載スル豫定ナリシガ土木工事中主要ナルモノノ一ニシテ且其ノ範圍廣キ石工ハ成ルベク之ヲ詳論スルノ必要ヲ認メタルト基礎ヲ述ブルニ先ダチ土壓ノ一篇ヲ加フルノ至當ナルヲ考ヘタルトニヨリ土工,土壓及ビ基礎ノ三篇ヲ本卷ニ收メ石工,仕様及ビ豫算ハ之ヲ續篇ニ讓ルコト、セリ

第八篇土工ニ於テハ廣ク土工ニ關スル事項ニ觸レンコトヲ力メタリト雖モ近來鑛山土木日ヲ追フテ發達シ一般工事ノ規模亦益大トナリ土工ニ屬スペキ範圍愈擴大セルニヨリ尙其ノ所要ヲ悉

スコト能ハザルヲ遺憾トス。

第九篇土壓ニ於テハ理論上ノ攻究ヨリモ寧口其ノ應用ニ重キヲ置キ例題ヲ多クシ計算用諸表及び表圖ヲ添ヘタリ。又圖式解法ノ結果ハ近似的ナレドモ解析解法ニ比シ遙カニ簡便ナルヲ以テ成ルベク圖式解法ヲ應用セリ。

第十篇基礎ニ於テハ基礎ニ關スル有ラユル事項ヲ擧ゲテ之ヲ概説シ就中我が國ニ於テ現ニ行ハルモノ及び將來廣ク用キラレントスルモノニ就テ特ニ詳述センコトヲ期セシモ紙數ノ制限アルニヨリ素志ニ副ハザル部分モ少カラズトス。

大正七年十月

於熊本高等工業學校

著 者 識

土木工學下卷目次

第八篇

土 工 (Earthwork)

第一章 總 論	(頁) 1
1. 土工ノ意義	1
2. 土工ノ主要作業	2

第二章 土 壊 鑿

3. 壊鑿用器具	3
4. 犁起壊鑿機	5
5. 連續桶式壊鑿機	6
6. 柄杓形壊鑿機	10

第三章 運 撥

7. 總說	12
8. 簡單ナル運搬方法	14
9. どこ一ヶ處の軌道	21
10. 輕便鐵道	27
11. 普通鐵道	29
12. 單線式架空鍛道	33
13. 複線式架空鍛道	40
14. 架空軌道	56

15. 電力鑽道	58
16. 運搬路=急勾配アル場合	67
17. 土ナ鉛直=引揚グル場合	72

第四章 岩石掘鑿 75.

18. 総説	75
19. 直接掘鑿方法	76
20. 間接掘鑿方法即チ爆破法	78
21. 手力鑽孔	78
22. 機械鑽孔	82
23. 空氣衝擊鑿岩機	84
24. 電氣衝擊鑿岩機	93
25. 電力空氣鑿岩機	95
26. 錐擊鑿岩機	96
27. 回轉鑿岩機	104
28. 鑿岩機支架	113
29. 鋸ノ形及ビ大サ	117
30. 各種鑿岩機ノ特色	124
31. 爆破薬	127
32. 黒色火薬	128
33. 棕火薬	131
34. 「ダイナマイト」	134
35. 安全爆破薬	142
36. 鹽剝爆破薬	144
37. すぶれんげる式爆破薬	145
38. 起爆剤	146
39. 導火線	148
40. 火薬ノ装填及ビ填塞	150

41. 発火	155
42. 電氣發火	158
43. 爆破作業上ノ注意	169

第五章 土工ノ實施 181

44. 土工ノ平均	181
45. 土積曲線	187
46. 土積ノ縮小	193
47. 切取工事ノ實施	198
48. 盛土工事實施	206
49. 法ノ勾配	215
50. 法面ノ保護	219
51. 法杭ノ設定	224

第六章 土積計算 227

52. 総説	227
53. 横断面積ノ計算	228
54. 土積ノ算出法	242
55. 曲線=於ケル土積ノ算出法	255
56. 地均シノ土積算出法	251

第七章 土工費 270

57. 総説	270
58. 掘鑿及ビ積込費用	271
59. 運搬費用	274
60. 其ノ他ノ費用	280
61. 注意	281

第九編

土 壓 (Earth Pressure)

第一章 總論 283

- 62. 緒説 283
- 63. 土ノ摩擦力及ビ凝集力 285
- 64. 土ノ息角及ビ重量 287
- 65. 土ノ息角ニ及ボス地震ノ影響 291
- 66. 土ノ凝集力係數 294
- 67. 土ノ自働的壓力、受働的壓力及ビ破壊面 295
- 68. 土壓論ノ沿革 297

第二章 内應力ニ基づケル

土壓論 299

- 69. 緒説 299
- 70. 鉛直面ニ作用スル土壓力 301
- 71. 斜面ニ於ケル土壓力 309
- 72. 斜面ニ於ケル土壓力 別法 317
- 73. 斜面ニ於ケル土壓力 圖式解法 319
- 74. 地表面上ニ荷重アル場合ノ土壓力 324
- 75. 受働的土壓力 327
- 76. 土ノ支持力 331
- 77. ぶーしねすく氏土壓論 337

第三章 破壊面ニ基づケル

土壓論 338

- 78. 緒説 338
- 79. 破壊面ヲ求ム法 340
- 80. 土壓力ノ大サ 354
- 81. 土壓力ノ方向 366
- 82. 土壓力ノ働く點 369
- 83. 受働的土壓力 393

第四章 凝集力ヲ有スル土 401

- 48. 緒説 401
- 85. 破壊面ヲ求ムル方法 403
- 86. 安定傾斜 406
- 87. 切取及ビ盛土ノ法ノ決定 411
- 88. 摊壁ニ作用スル土壓力 413
- 89. 駆道ノ支保工ニ加ハル土壓力 416

第十編

基礎 (Foundations)

第一章 總論 420

90. 定義 420
 91. 基礎ノ價值 420
 92. 基礎ノ種類 422
 93. 基礎工設計方針 422

第二章 基礎地盤 423

94. 基礎地盤調査ノ必要 423
 95. 簡單ナル調査方法 424
 96. 試鑽法 424
 97. 地盤ノ耐重力試験 436
 98. 地盤ノ耐重力ノ大サ 440
 99. 側面摩擦抵抗 446
 100. 基礎地盤ノ施設 448

第三章 普通基礎 453

101. 諸論 453
 102. 基礎底面ニ於ケル壓力ノ配布 454
 103. 脚層ノ設計 455
 104. 粒石地形 462
 105. 混凝土脚層 463
 106. 木材脚層 466

107. 鋼材脚層 468
 108. 仰拱 471

第四章 杭打基礎 471

109. 諸説 471
 110. 杭ノ種類 473
 111. 木杭 474
 112. 鐵杭 480
 113. 混凝土杭 483
 114. 杭打方法 494
 115. 杭ノ耐重力 505
 116. 摩擦杭公式適用上ノ注意 513
 117. 杭ノ耐重力試験 519
 118. 杭打基礎ノ手配 522

第五章 水中基礎 528

119. 圍堰法 528
 120. 矢板圍堰ノ設計及ビ施工 534
 121. 沈井法 540
 122. 井筒ノ沈下 549
 123. 沈函法 554
 124. 用氣法 558
 125. 用氣潛函 559
 126. 可動潛函 566
 127. 潛水作業 569
 128. 壓搾空氣ト衛生 573
 129. 凍結法 575
 130. 特殊水中基礎 577